

和歌山ろうさい病院広報誌



わろうて

わかやまろうさい病院からのおてがみ



暑い夏は脳梗塞にご注意を

和歌山ろうさい病院
副院長兼脳神経外科部長
桑田 俊和



しだいに暑さが厳しさを増してきましたが、皆様方にはお変わりありませんでしょうか。

最近の夏は異常な暑さが続きます。ニュースでも「観測史上初」「異常気象」「命に危険を及ぼす暑さ」などといった言葉をよく耳にします。消防庁の調査によりますと、昨年平成30年5月から9月までの全国における熱中症による救急搬送人員数の合計は、95,137人で、調査期間中の救急搬送人員数としては、平成20年の調査開始以来 過去最多となったということです。熱中症で亡くなる人も増えており、厚生労働省人口動態統計によると、近年の熱中症による死亡数は、毎年1000人近くにのぼるようです。昨年には愛知県豊田市で小学1年生の男子児童が校外学習のあと熱中症で亡くなるという痛ましい事故がありました。とにかく最近の夏の暑さは異常ですので、十分に注意をする必要があります。

暑さが本番を迎えるこれからの時期、熱中症とともに脳梗塞への注意が必要です。脳の血管障害は寒い冬場に発症しやすい印象がありますが、脳梗塞に限って言うと実は夏場に多発し、冬よりも患者数が多いというデータもあります。脳梗塞が夏に起こりやすいのは、暑さや湿気で汗をかき、体内が水分不足になりやすいことが原因です。汗により体内の水分が大量に外に出ていくと、血液が濃くドロドロの状態になってしまい、流れにくくなることで血管が詰まりやすくなるのです。脱水が引き金になる脳梗塞は、高齢者や生活習慣病の人だけでなく、条件が揃うと健康な人であっても発症します。炎天下だけではなく、家の中で発症するケースも多いです。予防にはエアコンや扇風機をうまく使って、こまめに水分補給をすることが最も有効です。

脳梗塞の兆候としては、手足の麻痺やしびれ、ろれつ困難などが重要です。時期が早ければ、血栓を薬で溶かす血栓溶解療法や、カテーテルを脳の詰まった血管に誘導し、血栓を破壊したり、回収したりする治療法（血栓回収療法）ができる可能性があります。症状が出れば様子を見るのではなく、できるだけ早く救急受診することが重要です。当院では24時間体制で脳卒中に備えております。

「備えあれば憂いなし」で、今年の夏も無事に乗り切りましょう。



日本医療機能評価機構認定病院
地域医療支援病院

独立行政法人労働者健康安全機構

和歌山ろうさい病院

〒640-8505 和歌山県和歌山市木ノ本93番1

TEL.073-451-3181 (代) FAX.073-452-7171 (代)・073-451-3788 (地域連携室専用FAX)

E-mail:soumu@wakayamah.johas.go.jp URL:<http://www.wakayamah.johas.go.jp>**和歌山ろうさい病院理念**

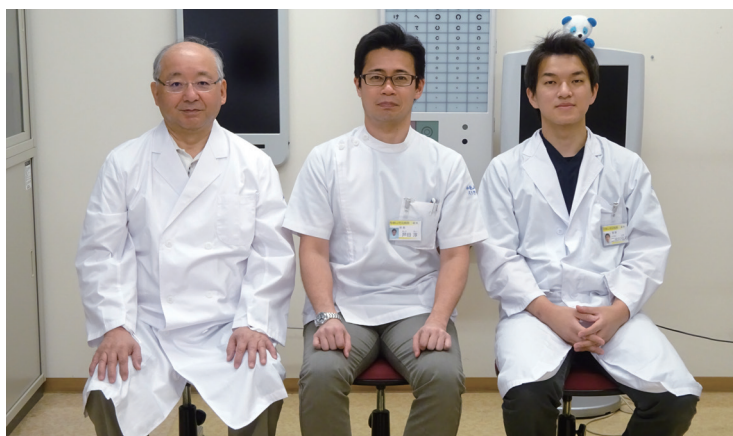
地域の人々と勤労者に、地域医療機関と密接に連携しつつ、安全に十分配慮した最適な医療を提供する。

眼科の紹介

眼科部長 芦田 淳

当科は1966年の和歌山ろうさい病院開院時に開設されました。

50年余りの歴史の中で、常勤医が3名だった時代もあったと聞いていますが、常勤医が1名になりマンパワーに乏しい時期もありました。そんな大変な時期を乗り越えて、ここ数年は常勤医2名、視能訓練士2名と検査助手1名で外来診察にあたることができています。眼科の診察は他覚的所見のなかでも、眼科特有の検査（視野検査や斜視検査など）が診断上、重要視されることが多々ありますので、視能訓練士をはじめとするコメディカルとの連携も密接にとるよう心がけています。



左から 田中先生、芦田、二出川先生

以前から手術では元日本赤十字社和歌山医療センター眼科部長の田中康裕先生に指導して頂いておりました。さらにこの春には、兵庫医科大学名誉教授の三村治先生を神経眼科及び斜視診療顧問（外来と手術、両方とも担当して頂いています。）として、元大阪労災病院眼科副部長の坂東肇先生を手術専門医師としてお迎えし、これ以上はない経験豊富な人材をもって日々の外来診察と手術にあたらせていただいています。

昨年度は915件の手術を行い、そのうち653件が白内障手術です。

手術室では白内障手術の他に主に硝子体、眼瞼や眼表面の手術を、外来ではレーザー手術を行っています。

当科の白内障・硝子体手術用の機械は、安全性の面で高い評価を得た機械を使用しており、我々も落ち着いて手術にあたる事ができています。また外来で使用している当科の網膜パターンスキャンレーザーは従来のものより低侵襲で、痛みが少なく、患者様の負担の少ないものとなっています。

近年、硝子体注射の適応によって、網膜の中心である黄斑部の改善により、視力の維持、改善が見込める患者様が増えてきました。加齢黄斑変性症、網膜静脈閉塞症に因る黄斑浮腫、糖尿病黄斑浮腫、病的近視による脈絡膜新生血管がそれにあたります。今までほとんど治療法がなかったこれらの疾患を罹患されている患者様にとって、この治療法は福音ともなりえるものです。当科では毎週手術日（月・木曜日）にこの硝子体注射を行っています。

急速に高齢化が進むこの国で医療の担う社会的役割はますます重要となってきています。この重責を全うすべく、眼科スタッフ一丸となって診療にあたる所存です。今後ともご指導よろしくお願い申し上げます。

市民公開講座のお知らせ

「知って得する驚きの最新眼科治療！」

開催日：令和元年9月5日（木）16:00～17:00
（受付開始：15:30～）

参加費：駐車料金 無料

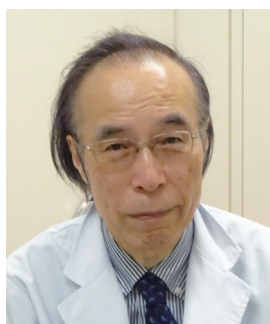
開催場所：和歌山ろうさい病院 災害医療研修棟
4階多目的ホール

講演：1.「アッ!という間の白内障手術
エッ!意外と楽な網膜手術」

講師：元大阪労災病院
眼科副部長 坂東 肇 先生

2.「斜視と眼筋けいれんの最新治療法！」

講師：兵庫医科大学眼科学名誉教授
三村 治 先生



三村 治 先生



坂東 肇 先生

内視鏡センターの紹介

内視鏡センター長 与田 武徳

当院内視鏡センターは消化器内科内視鏡医に加え内科の先生方にもお手伝いを頂き、日々の診療を行っております。通常内視鏡検査のみならず、大腸ポリープの切除はもちろん、早期がんの内視鏡手術や胆管領域の内視鏡治療、超音波内視鏡、小腸カプセル内視鏡など内視鏡領域におけるほぼ全ての検査・治療を専門的に行っております。

2017年国立癌研究センターの調べでは部位別癌死亡数において、男性：2位胃癌3位大腸癌、女性：1位大腸癌4位胃癌と我々内視鏡医にとって非常に残念な結果が報告されております。健診での一次予防、日常診療における2次予防としての内視鏡検査の役割は非常に大きいと考えており、健康意識の高まりとともに今後ますますの需要が予想されます。当センターといたしましては少しでも多くの検査・治療を行える体制づくりを今後とも整えて参りたいと思います。

7月からこれまでの鎮静下での内視鏡検査と併せて経鼻内視鏡検査も健診や通常観察の際に選択して頂けるようになりました。少しでも被検者様の不安を払拭し、安心して楽に受診いただけるよう常々心がけております。

内視鏡検査の増加、多様性に伴い、当センター看護スタッフはじめコメディカルの方々にも大変なご負担をお掛けしておりますが、日々の安全・安心かつ迅速な検査は皆様あつての賜物と心から感謝をいたしております。

また、近隣の先生方からもたくさんの患者様をご紹介頂き誠にありがとうございます。平日の日中だけでなく、夜間や休日の緊急内視鏡にも今まで以上に対応できる体制を7月からスタートさせており、少しでも地域医療に貢献できるよう努めて参りたいと思います。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

少しでも多くの検査を行うことが多くの患者様の幸せにつながると信じて日々診療を行ってまいりますので、他科の先生方にも引き続きたくさんのご紹介・ご予約を頂けると幸甚です。

『内視鏡で紀ノ川を越えさせない!』をモットーに内視鏡センター一同努力して参りたいと思いますので今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。



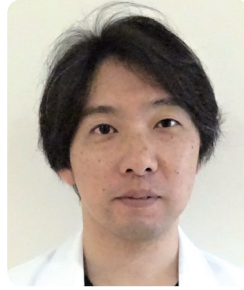
令和元年7月新任医師紹介



いわさき やすひろ
岩崎 安博 先生

救急科部長

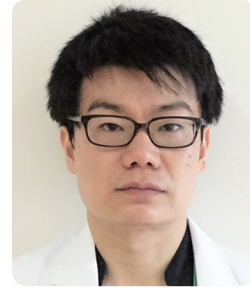
7月からろうさい病院でお世話になります。今までドクターヘリ、ドクターカー等で病院前救急（病院の外で行う救急医療）に携わってきました。その経験を少しでも活かし、地域の救急医療に貢献できればと思っています。よろしくお願い致します。



やまもと しゅうへい
山本 昇平 先生

内科医師

内科領域で地域医療へ貢献できるように頑張ります。よろしくお願いします。



つだ いくひさ
津田 郁久 先生

消化器内科医師

福井県敦賀市で研修を終え、昨年より地元和歌山に戻ってきました。よろしくお願い致します。

特定看護師のご紹介

和歌山ろうさい病院における 特定看護師育成制度について

特定行為研修管理委員長

麻酔科部長・中央手術部長 小川 幸志

厚生労働省は2025年に向けて、急性期医療から在宅医療までのあらゆる現場に対応できる特定看護師の育成を推奨しています。特定看護師とは、今までは医師・歯科医師が行っていた医療行為の一部を行うことができる看護師のことです。特定看護師になるためには一定期間の厳しい研修を受け、試験に合格することが必要です。特定看護師は医師・歯科医師の包括的な指示のもとに特定医療行為の実施が可能となり、医師・歯科医師の業務を代行することにより、その負担を軽減することも期待されています。

当院ではまもなく2人目の特定看護師が誕生する予定で、さらに労働者健康安全機構研修協力施設として現在4名の看護師が研修を行っています。院内では特定行為研修管理委員会が中心となって、全ての職種が協力し合い、組織をあげて育成に努力しています。

今後、病院および在宅医療のいずれにおいても、専門的な知識と高度な技能を有した特定看護師が活躍する機会が増えてくるものと考えられます。当院は地域医療支援病院として地域住民の皆様へ高度な医療を今以上に提供できるよう、これからも特定看護師の育成に全力で取り組んでいきます。

特定看護師の活動の実際

特定看護師 太田 岳志

私は、平成31年3月に特定行為研修を修了しました。実施できる特定行為は「栄養及び水分管理のかかる薬剤投与関連」をはじめ「呼吸器関連」「動脈血液ガス分析関連」「感染に係る薬剤投与関連」など16行為です。現在、救急・ICUで勤務しています。医学の視点からも患者さんの疾患や症状を理解し、患者さんの状態を見極め、適切な対応によって、患者さんを「治療」「生活」の両面から支えていけるよう活動を始めています。また、当院は退院直後の患者さんへ退院後訪問、通院が困難な患者さんへの居宅訪問指導を積極的に行っており私も同行しています。住み慣れた地域での治療を継続して行えるという点で、在宅医療のニーズは高まっています。

急性期病院、在宅医療の双方の場において、特定看護師として活動していけるよう当院スタッフ、地域の皆様のご協力とご理解を得ながら活動をすすめていきたいと思っています。

「かかりつけ医」のご紹介

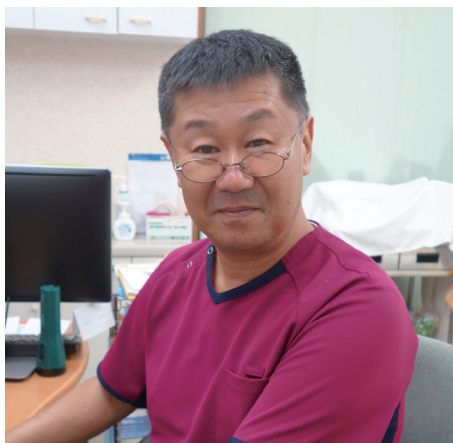
和歌山ろうさい病院との「病診連携システム」に参加されている「かかりつけ医」の先生方をシリーズでご紹介しています。

平井診療所

診療科目 内科、外科、整形外科、リハビリテーション科、消化器内科

住 所 〒640-8432 和歌山県和歌山市土入291-86

電 話 073-480-5262



院長 ^{ひらい}平井 ^{ひさや}久也 先生



平井診療所は平成14年8月に和歌山市土入に開設されました。平井先生は消化器外科で研修を開始し、救急、麻酔科、整形外科などで臨床経験を重ね、幼少期からの夢であった、平井診療所を開設されました。開設後は科目に関係なく、初期診療し、病状に応じた“普通の医療”が患者さんに提供されることを念頭に置き、日々の診療に努められています。

家族ぐるみでかかられている患者さんが多く、些細なことも気軽に相談でき、往診（在宅医療）にも対応され、地域のホームドクターとして尽力されています。

和歌山ろうさい病院が今後も地域医療を提供し続ける上で、かかすことのできない重要な連携協力医療機関（パートナー）です。

平井診療所 診療時間		月	火	水	木	金	土	日
午前 (9時～12時)		○	○	○	○	○	○	休
午後 (17時～19時半)		○	○	○	休	○	休	休

※休診日：日曜・祝日 備考：木曜・土曜AMのみ 臨時休診あり

和歌山ろうさい病院（外来診療科担当医一覧表）

令和元年 8 月 1 日現在

診療科	ブロック	診察室	月	火	水	木	金	手術日
内科	A	①番	中 啓吾	若崎 久生	中 啓吾	若崎 久生	中 啓吾	—
		②番	三長 敬昌	中尾 隆太郎	松本 怜佳	三長 敬昌	山本 昇平	
		⑦番	大伴 裕美子（午前） （腎臓内科）	南條 輝志男 【第2週休診】	—	—	—	
脳神経内科	A	⑪番	梶本 賢輔	（午前）神崎 和紀	休 診	梶本 賢輔	梶本 賢輔	—
		⑭番	—	（午後）中谷 公美子		神崎 和紀	—	
血液内科	A	⑩番	阪口 臨	休 診	阪口 臨	（午前）大岩 健洋 （午後） —	休 診	—
呼吸器内科	A	⑤番	前部屋 賢	細 隆信	当番医	細 隆信	庄野 剛史	
消化器内科	B	⑥番	辰田 仁美	庄野 剛史	前部屋 賢	辰田 仁美	当番医	—
		⑪番	原 猛	原 猛	原 猛	原 猛	原 猛	
		⑫番	与田 武徳	津田 郁久	加治 汐梨	垣本 哲宏	内視鏡センター診 与田 武徳	
循環器内科	A	⑬番	玉井 秀幸 （肝臓内科）	休 診	玉井 秀幸 （肝臓内科）	玉井 秀幸 （肝臓内科）	玉井 秀幸 （肝臓内科）	火・木
		⑧番	有田 祐	九鬼 新太郎	林 泰	林 泰 【新患診】	山本 康徳	
		⑨番	当番医	—	当番医	—	当番医	
小児科	C	⑨番	上田 美奈	上田 美奈	大元 浩明	小森 有紀	上田 美奈	—
		⑩番	大元 浩明	小森 有紀	篠崎 浩平	篠崎 浩平	小森 有紀	
		特診⑨	小森 有紀	—	大元 浩明	上田 美奈	【第1週目】 津田 祐子【再診】 【第2週目以降】 宮代 英吉【再診】	
外科	B	特診⑩	大元 浩明	上田【予防接種】	篠崎 浩平	小森 有紀	—	月・火・水・木・金
		心工 コー	—	—	—	1・3週 心工コー 根来 博之	—	
		⑦番	小林 康人	坂口 聡	岩橋 誠	肝・胆・膵 小林 康人	上部消化管 山本 基	
		⑧番	山本 基	清水 敦史	坂口 聡	胃・大腸・食道 岩橋 誠	清水 敦史	月・火・水・木・金
		⑨番	—	—	—	緩和ケア・NST外来 坂口 聡	—	
		⑩番	—	—	—	ストーマ外来（予約制）	—	
整形外科	B	③番	中谷 如希	脊椎センター診 麻殖生 和博	手外科診 峠 康	中谷 如希	岩田 勝栄	月・火・水・木・金
		④番	峠 康	岩田 勝栄	岩橋 弘樹	スポーツ整形診 麻殖生 和博	中村 憲太	
		⑤番	大西 麻紀子	中村 憲太	山東 茂樹	大西 麻紀子	山東 茂樹	
		⑥番	当番医 【紹介新患診】	当番医 【紹介新患診】	当番医 【紹介新患診】	当番医 【紹介新患診】	当番医 【紹介新患診】	月・火・水・木・金
		⑨番	—	岩橋 弘樹	リウマチ・膠原病内科診 【第1・3・5週】 基本 伸生 【第2・4週】 田中 克典	—	—	
		⑫番	【第1週目】 寺田 友昭 【第2週目以降】 桑田 俊和	林 宣秀	桑田 俊和	当番医	岡田 秀雄	
脳神経外科	A	⑬番	岡田 秀雄	—	辻 栄作	—	林 宣秀	火・木
		⑭番	小山 佳輝	—	小山 佳輝	—	辻 栄作	
		救急特掲	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	
呼吸器・乳腺外科	A	③番	休 診	当番医 （呼吸器・乳腺外科）	玉置 剛司（午前） （乳腺外科）	玉置 剛司 （乳腺外科）	休 診	月・水
皮膚科	D	①番	下松 達哉	休 診	下松 達哉	丸山 希実子	下松 達哉	火
		②番	川口 亜美		川口 亜美	川口 亜美	丸山 希実子	
		午後 予約	—	—	学童外来 下松 達哉	—	—	
泌尿器科	C	①番	鈴木 淳史	森 麗史	休 診	鈴木 淳史	休 診	水・金
		②番	梅本 秀俊	梅本 秀俊	—	梅本 秀俊	—	
		⑩番	重根 光	当番医	中田 久実子	当番医	中田 久実子	
産婦人科	D	⑫番	矢本 希夫	助産外来（予約制）	矢本 希夫	助産外来（予約制）	当番医	火・木
		⑬番	谷本 敏	尾谷 功	重根 光	谷本 敏	尾谷 功	
		午後 予約	—	—	—	母親教室 （予約制）	—	
眼科	D	⑤番	芦田 淳	芦田 淳	芦田 淳	休 診	（午前）芦田 淳	月・木
		⑥番	二出川 弘樹	二出川 弘樹	二出川 弘樹		第1週のみ （午後）三村 治 （午後）二出川 弘樹	
		午後 予約	—	検査（予約制）	検査（予約制）	—	第1・3週 コンタクト（予約）	
耳鼻いんこう科	C	⑤番	小上 真史	休 診	森山 智美	森山 智美	小上 真史	火・水・金
		⑥番	横山 道明		福田 祐也	横山 道明	福田 祐也	
		⑦番	—	—	—	—	—	
リハビリテーション科	D	午後 予約	—	—	—	第2・4週 補聴器外来・当番医	—	—
		1診	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	
		2診	当番医	峠 康	—	—	—	
放射線科	D	1診	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	—
		2診	塩谷 健	塩谷 健	塩谷 健	塩谷 健	塩谷 健	
		午後 予約	—	—	—	—	—	
女性専用外来 【完全予約制】	A・D	午後 予約制 A⑦番 D⑫番	—	第4週 婦人科外来 笠野 有里	第1・2・3・4週 総合（漢方）外来 辰田 仁美 第1週 漢方外来 松本 朋子	第1週 乳腺・肛門外来 浦 希実子 第2・4週 漢方外来 神人 美穂子	—	—
		—	—	—	—	—	—	
		—	—	—	—	—	—	
専門外来	備診センター【予約制】	禁煙外来（1400～1430） 庄野 剛史	—	—	—	禁煙外来（1400～1430） 庄野 剛史	—	—
		—	—	—	—	肥満外来（1500～1600） 中 啓吾	—	
		—	—	—	—	—	—	

（注1）

- 小児科の午後は、予約者を対象に専門外来を行っています。
- 呼吸器・乳腺外科の月曜日、耳鼻いんこう科の火曜日、泌尿器科の水曜日・金曜日、眼科の木曜日は手術のため休診です。
- 母親教室は、毎週木曜日 14時～16時です。（予約制）
- 助産外来は、毎週火曜・木曜日 9時～15時です。（予約制）
- 耳鼻いんこう科の木曜日の午後の診察時間は、13時～15時となっております。
- 糖尿病教室は、平日月曜日～金曜日に開催しております。詳細については内科外来にお問合せください。
- 女性外来・専門外来は、完全予約制となっております。
- お申込みは、勤労者医療センター直通番号（451-3303）までお申込みください。
- 各診療科の専門外来については、病院代表番号（451-3181）を通じて各専門外来までお問合せください。
- 整形外科・当番医での予約は受け付けておりません。
- 0.前月から変更がある部分については網掛けで表示します。

（注2）

セカンドオピニオン外来の詳細については、患者サポートセンター
医療連携室（451-3181内線3128）までお問合せください。
※他院からの紹介状をお持ちの際は、必ず診療予約をして
頂きますようお願いいたします。
《診療予約をせずに来院されますと、担当医師が対応で
きない場合があります。また対応可能な場合でも、待ち時間が
かなり発生いたしますので、前もっての診療予約をお願い
いたします》
【予約専用電話】 073-451-3186

お問い合わせは 和歌山ろうさい病院 医事課

TEL.073-451-3181（代）
FAX.073-451-3788（医事課直通）